戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

「マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築」

サブ課題C：マテリアルユニコーン予備軍の創出

個別テーマ(2)：テーマメンタリング

研究開発課題提案書(1)

*※青字の記入要領、記入例は削除して提出ください。*

*※フォントは 游明朝（10.5p）を基本としてください。*

令和６（2024）年　　月　　日提出

**１．研究開発課題（技術シーズを使った事業）の名称**

*※その事業を推進するスタートアップについて、誰にでもわかる「端的に示す一言」と、それを示す、副題という記載をするようにしてください。（そのスタートアップのピッチ資料の表紙に記載するつもりで記載してください。）*

*【記載例】　世界初の〇〇事業〜◯◯によって、世界を変える！〜*

**２．連絡先情報**

（１）研究開発責任者

氏名： 　　　　フリガナ：

年齢：西暦　　　　年　　月　　日　（　　歳）

所属機関：

部署： 　　　　役職：

住所：〒

電話： 　　　　E-mail：

*※公募要領記載の応募要件を満たしているか確認してください。*

（２）代表研究開発機関担当者（事業化支援担当者）

氏名： 　　　　フリガナ：

所属機関：

部署： 　　　　役職：

住所：〒

電話： 　　　　E-mail：

*※産学連携本部等、大学として事業化を支援する担当者を記入してください。*

*※既に起業しているスタートアップの場合、事業化の実務交渉を行う担当者、または共同研究開発機関等の大学の産学連携本部の担当者を記入してください。*

*※企業からのカーブアウトの場合、事業化の実務判断を行う担当者（技術・経営企画・知財部門等）を記入してください。*

**３．****参画する共同研究開発機関**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関名** | **部署名** | **役職** | **役割分担** |
| ○○　○○ | ○○大学 |  |  |  |
| ○○　○○ | ○○大学 |  |  |  |
| ○○　○○ | (株)○○ |  |  |  |
| ○○　○○ | (株)○○ |  |  |  |

*※参画する共同研究開発機関に関する一覧表を作成してください。*

*※参画する共同研究開発機関については、次年度以降に想定されるサブ課題C個別テーマ(1)の研究開発課題提案と同一である必要はありません。*

**４．マテリアルユニコーンにかけるモチベーションについて**

（１）本技術シーズを用いてマテリアルユニコーンを目指そうと思った背景や熱意等について

*※何故、本提案による事業化を思い立つに至ったか、何故、スタートアップを創出しマテリアルユニコーンを目指すことを思い至ったか、採択後、具体的にどのような事業に繋げようと考えているか、ユニコーンになった後どうしたいか、等、自由に研究代表者の強い想いを記載してください。*

**５．事業化が可能と判断した、技術シーズの内容、革新性・優位性**

（１）技術の内容

*※これまでに得られている研究成果について、実際のデータを基に定量的、具体的に記載してください。*

（２）技術の革新性・優位性

*※技術シーズの革新性・優位性について、背景や技術動向を踏まえて、新市場を創出する可能性、社会や市場に与えるインパクト等を記載してください。*

**６．技術シーズによる事業について**

（１）技術シーズによる事業が取り組もうとする社会課題と、そのボトルネック課題について

*※想定する具体的な応用分野における、社会課題や、その社会課題を解決する為に必要なボトルネックとなっている課題（＝ボトルネック課題）について、20～30年後のマクロトレンドを想定した上で記載してください。*

（２）対象となるボトルネック課題を解決する方法についての仮説

*※想定する具体的な応用分野における、社会課題を解決する為に必要なボトルネック課題を、今回の技術シーズでどのように解決できるのかの仮説を記載してください。*

（３）対象市場と波及効果

*※６（２）で記載したボトルネック課題の解決により、どのような市場がどのように変わっていくのか、定量的な市場規模・市場の伸び率を示した上で、記載をしてください。*

（４）想定しているビジネスモデルと製品・サービス

*※現時点で想定しているビジネスモデルと、展開を想定している製品・サービス、これを裏付ける企業からの問い合わせ等、市場からの反応などがある場合は記載してください。なお、ビジネスモデルは現時点での仮説で結構ですが、コストおよび顧客への販売価格構造がわかるように記載をしてください。*

（５）国内外動向も踏まえた、類似技術・先行技術、あるいは競合となり得る製品等の状況分析

*※比較対象となる技術の文献・特許、公開情報に関する内容を記載してください。現時点で、直接的に比較できる対象がない場合、対象を広げ、将来、後追いで競合となりうる関連技術、周辺技術、代替技術などの脅威を記載してください。*

*※類似研究・先行技術の進捗状況、達成見込みについて分かる範囲で調べて記載してください。*

*※将来（短期および中長期）、競合との競争環境がどのような状況となるか、可能な範囲で予測して、記載してください。*

*※特に競合については、査読者にポイントが伝わりやすいよう、図表グラフ、具体的なデータ等を積極的に用いてください。*

*以下の内容は記載ポイントの例示です。*

*●他者の商品・サービス構想との性能、コスト等を含めた比較を行い、メリット、デメリットについて記載してください。*

**７．技術シーズの根拠（発明、アライアンス、研究業績等）**

（１）スタートアップ創出の基となる発明（周辺特許を含む）

*※特許を取得している場合、発明の名称、特許番号（または出願番号）、発明者、出願人、出願日を記載してください。特許以外の知的財産権の場合も、同様の情報を記載してください。*

*【記載例】　aaaの装置およびその製造方法、第xxx号(特願20yy-zzz)、○○○○、xyz大学、20yy年m月d日出願*

*※特許を取得している場合、または技術シーズに関わる知的財産について採択後に権利化を予定している場合は、知的財産の権利範囲や今後の知的財産権戦略について記載してください。*

*※出願中の特許の場合、先行技術調査（国内、海外）の実施状況等を記載するとともに、調査結果があれば別途添付してください。*

（２）当該技術シーズに関するアライアンスやライセンス契約等の状況

*※当該技術シーズについて、既に企業と共同研究を行っている場合やライセンス契約等がある場合は、その状況について具体的に記載してください。*

（３）当該技術シーズの創出、育成に寄与した公的支援制度（国外のものを含む）

*※当該技術シーズの創出に関して、支援を受けた競争的研究費、助成金などの資金、およびその総額を記載してください。*

（４）当該技術シーズに関連する研究業績

*※技術シーズに関係する研究論文、国際会議での発表、著書があれば記載してください(技術シーズと関係ない研究論文等は記載する必要はありません)。*

*※箇条書きとし、著者名、タイトル、掲載誌名（書籍名）、巻、号、ページ、発行年等の情報、また、事業プロモーターがポイントをおさえやすいように、概要も含めて記載してください。*

*※論文等の業績が多い場合、本提案に関係する業績に絞り込んでください。*

**８．事業化に向けた（サブ課題C個別テーマ(1)を想定した）研究開発計画**

*※８（１）～（３）ともに、次年度以降のサブ課題C個別テーマ(1)の研究開発課題への応募を想定し、その研究開発計画につながるものとして、事業化を行うために必要な研究開発および最終目標を記載してください。複数ある場合には、箇条書きで記載してください。*

（１）事業化に向けた研究開発の実施内容および最終目標

（２）研究開発項目およびスケジュール

*※上記（１）の目標の各々に対して、達成や解決が必要と想定している研究開発項目とスケジュールについて具体的かつ明確に記載してください。*

*※マイルストーンの設定が必要な場合は、具体的に記載してください。*

（３）研究開発実施体制図：各研究開発機関の役割および相互関係

*※各研究開発機関の役割および相互関係をわかりやすく、図示してください。様式は問いません。*

*※参画研究開発機関・研究開発者が本研究開発課題（サブ課題C 個別テーマ(2)：テーマメンタリング）と同一である必要はありません。*

**９．その他特記事項**